



# 天城小だより

令和7年12月18日

校長 加藤 有紀子

## 冬休みが有意義な休みとなりますように



季節が夏から秋、そして冬へと変わり、1年で一番長い2学期が終わろうとしています。時が経つのは早いもので、2学期の始業式で『何事も自分から進んで』という話をしたのがついこの前のように感じられます。「進んで自分自身を伸ばすこと」「進んで自分の学級や学校をよくすること」「進んで自分から地域の人々にあいさつをする」とこと。ほんの少しでも昨日の自分より今日の自分が、できることが増えていたり、頑張った自分が好きになっていたりしたのなら、成功ですね。

2学期はじっくりと学習に取り組んだり、いきいきと行事で活動したり、思いやりをもって異学年と関わったりと、様々な場面で子ども達の成長する姿

に出会うことができました。また、どの学年も学校を飛び出し、〈本物の体験〉をしました。保護者の皆様や地域の皆様のご理解とご協力、ご支援があつてのことと感謝いたします。

先日あまごども園の幼児発表会を見させていただきました。みんな歌や合奏、劇などに一生懸命取り組んでいました。それぞれの学年で劇を披露しましたが、年少さんの劇の中心は「ヨトウムシ」。園の畠で作っている野菜の葉っぱが、ある朝突然食べられていたのを見て、夜の間に葉を食べつくす「ヨトウムシ（夜盗虫）」の存在を知ります。一生懸命育てている自分たちの思いだけではなく、ヨトウムシや野菜の気持ちになって、どちらも上手に大きくなる「生」を劇にしていました。年中さんは大好きな虫取りで捕まえた「カマキリ」と「バッタ」の飼育を通して、食べる・食べられる〈いのち〉を経験し、「生と死」に向き合ったことを題材にした作品でした。年長さんは七夕の行事を通して宇宙に興味を抱き、図鑑などで調べたり、自分たちでプラネタリウムを作りました。どの学年の劇も自分たちの体験がもとになり、その時の気持ちや、どうしたらよいのか、大事なことは何だろうと、みんなで考えたのだろうな。ということが伝わってきました。子どもたちが小学校に入学するときには、追及することや、話し合って合意点を見つけることの経験が豊富にあること。〈本物の体験〉が、学びを深めることに大きく影響しているということを、園児の姿から学ぶことができました。小学校ではこの経験を引き継ぎ、子どもたちが「学ぶことの楽しさ」を味わうことができる授業づくり、活動づくりを行なっていきたいと思います。

12月24日（水）より冬休みになります。年末は何かとあわただしくなります。事故などに遭わないよう、落ち着いた生活ができるといいです。インフルエンザ等の予防にも心がけてください。

少し早いですが、今年1年間、保護者の皆様、地域の皆様には、本校の教育活動に御理解いただき、たくさんのご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

本当にありがとうございました。

来る年（午年）が皆様にとって幸多き年となりますようお祈り申し上げます。

裏面もご覧ください



# 月行事予定

SC:スクールカウンセラー SSW:スクールソーシャルワーカー 来校

1月			2月		
1	木	元日	1	日	
2	金		2	月	委員会 SSW
3	土		3	火	
4	日		4	水	感謝の会、弁当の日
5	月		5	木	
6	火	始業式 3時間授業	6	金	
7	水	弁当の日 ステージ会 1, 2年発育測定	7	土	
8	木	3, 4年発育測定	8	日	
9	金	定着度調査 6時間目委員会	9	月	入学説明会 教育相談～20日
10	土		10	火	PTA運営委員会*新旧引き継ぎ
11	日		11	水	建国記念の日
12	月		12	木	
13	火	5, 6年発育測定	13	金	授業参観・懇談会、卒業式説明会、CS推進委員会
14	水	PTA運営委員会	14	土	
15	木		15	日	
16	金		16	月	SC
17	土		17	火	6時間目無し
18	日		18	水	心の時間 SSW
19	月		19	木	弁当の日
20	火	弁当の日 朗読会	20	金	
21	水		21	土	
22	木	SC	22	日	
23	金	SSW	23	月	天皇誕生日
24	土		24	火	
25	日		25	水	
26	月		26	木	6年生を送る会 SC
27	火	1年年長交流会	27	金	
28	水		28	土	
29	木	5年金融講座			
30	金	4～6年おんがくの力コンサート			
31	土				

## 第2回資源回収へのご協力 ありがとうございました

12月6日(土)に、資源回収を行いました。今回は、古着の回収やパッカー車の配置など、若干の変更をしましたが、地域や保護者の方々のご協力により、たくさんの資源を集めることができました。ありがとうございました。当日の収益は、52,750円でした。



また、国道沿い駐車場の資源回収小屋と、児童昇降口付近のアルミ缶回収袋へのご協力ありがとうございます。6月から11月末までの半年で、152,770円の収益となりました。子供たちのために、有効に使わせていただきます。「資源回収小屋(段ボール・新聞・雑誌)」と「アルミ缶回収袋」は、いつでもご利用頂けますので、今後もよろしくお願いします。



## 家庭の愛着が子どもの力に

子供は、家庭での温かいまなざしや言葉かけを通じて、自分の存在に安心感を持ちます。この「愛着」が、学校での挑戦や友達との関わりを支える「心の土台」となります。学校での子供さんの様子や友達との関係などで不安を感じるときには、一緒に遊んだり、お風呂に入ったり、寝ながらマッサージなどをあげてみてください。また、「ほめることが見つからない」と感じても当たり前にできていることを、事実として声で伝えてあげてください。

このようなことで子供は落ち着き、よりよい人間関係をつくることがよくあります。